

メーカー消費者向け好評 カタログ 改修促進 製工の思惑一致

粘土瓦メーカーが発行する消費者向けカタログが好評だ。屋根工事業者から「50部欲しい」と要望が入り、各社とも想以上のペースで配布が進んでいる。消費増税後の普及を促す工務業者と、屋根材決定権者へ粘土瓦の優位性情報を届けたいメーカーとの思惑が一致したようだ。

「お花をばらまいて瓦っていいじゃん」
「はじめてのK&A 屋根選び サポートBOOK」

5千部が配布され、想定以上のペース。会合などで1部ずつを配布する。さらには、屋根に関する基本的な質問に、数十部単位で注文が振ってきた。



イラストや色使いで工夫 ④は山平 ⑤は鶴弥

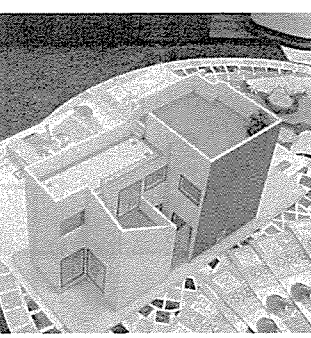
惣CjkでF形2製品 工場改造、プレス新設で

石州産地の瓦メーカー、惣Cjk(本社・島根県江津市、佐々木製瓦)は、このほど、長期使用住宅部材標準化推進協議会(長住協)の長期使用対応部材(Cjk)となるF形新商品2タイプを、年250万枚(積瓦換算)生産していくと発表した。

同社によると現在、同産地全体に占めるF形の

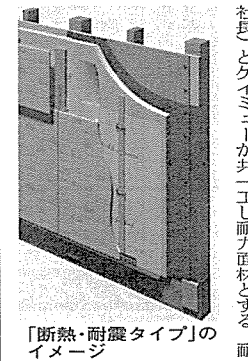
説明している点が特徴。瓦屋根にしたら雨音が気づかず、赤ん坊もぐっすり眠るようになったなどの内容。表紙には印象的な神谷社長の似顔絵。同社長は「これまでにカタログ類を誰に訴えるのか明確でなかった」と振り返る。深く専門的な

建築・建材展 屋根なくして屋上庭園 軒ケラバゼロ換気部材 建てものの様式変化現れる



本紙3月18日号既報、第21回「建築・建材展」では屋根材以外にも多くの展示があり、建築様式や屋根形状の変化に関連する商品も目立った。

棟換気メーカーの㈱ハセサンエイは軒やケラバの出がない建物の換気システムを「広小舞上換気」として提案。展示会期間中に近隣会場で開催したセミナーは活況だったという。



「断熱・耐震タイプ」のイメージ
断熱性と美観が向上する。合わせてケイミー屋根材で屋根を軽量化し、減震効果も期待という。

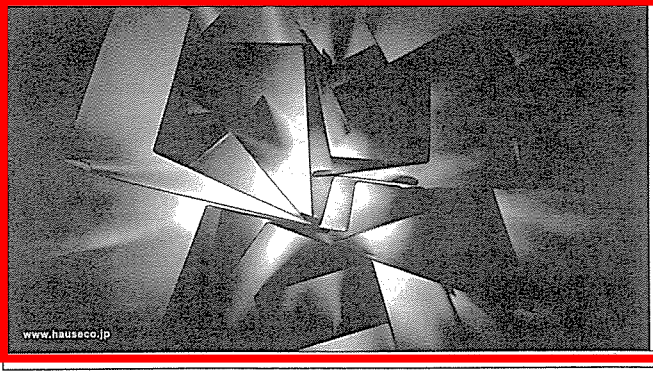
形をした3つ折りのカタログに、かわいらしいイラストを用いて製品説明。また石州でも㈱シバオ(本社・島根県大田町、芝屋宜秀社長)はJ形の多様性を前面に出し、「オーダーメイドの屋根」作りでリフォーム提案している。

ケイミー(㈱)本社・大阪府、小森隆社長が提案するK2耐震LaZo(ラゾ)工法に断熱・耐震タイプが登場した。同工法は(㈱)カネシン(本社・東京、吉田孝志社長)とケイミーが共同開発したもの。既存の外壁を撤去せず、住んだまま短期間、低コストで耐震改修工事ができる。既存外壁に専用金具と垂木を施工、その上に耐震サウンディングを施工し、耐力面材とする。耐震性と美観が向上する。合わせてケイミー屋根材で屋根を軽量化し、減震効果も期待という。

3月中旬から試験生産を始め、5〜6月頃の発売を予定。設備投資額は約2億円。長住協は住宅のメンテナンス性を向上させるため、ハウスメーカーが住宅部材の標準化を目指す活動として、同社のCjk部材対応のF形投入は、ハウスメーカーに自然光を導くシステムも複数展示があった。垂直、水平、L字の高反射鏡面ダクトを建物内部に設置し、室内に外光を導くシステムは、木造住宅でも

規格外瓦で交流会
島根県 産廃業者ら50名が参加
島根県環境生活部は3月14日、環境リサイクル交流会を松江市のくにびきメッセで開催した。テーマは「リサイクルビジネス」で、瓦工場から排出される規格外瓦を、コングリートの細骨材として活用した事例(本紙1

セラミカを再生事業者指定
経産省
本紙1月28日号既報、石州産地の㈱セラミカ(本社・大田市、吉藤健一社長)は、民事再生手続き開始の申し立てを行ってきたが、経済産業省中間経済産業局は2月24日、連鎖倒産と関連中小企業者への影響を防ぐため、「再生手続開始申立等事業者」として同社を指定した。



2014年4月1日、
私たちは株式会社ハウゼコに
生まれ変わります。

株式会社ハウゼコ (旧社名株式会社ハウゼンエイ)
本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 下村ビル2F
Tel. 06-4963-8266
東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-16-3 日本橋中央ビル7F
Tel. 03-5201-5501

新製品 ケラバパッキン
ゼロ軒角の役割の過剰な過剰に確保
できます。漏水・耐火などの諸問題
から開放される画期的な新商品!